



広報みまた



“元気よくもちつき”

空手スポーツ少年団

町空手スポーツ少年団（指導者中村和男）は、12月13日、恒例のもちつき大会を開催しました。

父母と一緒に、元気のよいかげごえに合わせて、ペッタン、ペッタン、明るい歓声が遠くまで響いていました。

56/12月号

実りある研究大会

町PTA協議会

町PTA協議会(会長山元勝博)は去る十一月二十九日(日)にPTA研究大会を、三股小学校で開催しました。

この研究大会は、昨年まで、球技大会と併せて行っていたのですが、現在の社会情勢をふまえ、PTA活動のあり方と、児童生徒を心身ともに健やかに育てるための親の役割について、じっくり研究を深めてみようとの目的で、一



講演に聞き入る参加者

日研修に切り替えられたもので、大会では、開会式に引続き、PTA活動の功労者や団体の表彰が行われました。その後、大分県立芸術短期大学教授の高橋正臣先生の「これからの社会と人の心」と題する講演に、参加した約三百名の会員は、熱心にメモを取りながら聴き入っていました。

午後からは、(1)子どもの健全育成のための親の役割 (2)PTAにおける成人教育 (3)PTAにおける事業部の役割 (4)健康生活の習慣化の手立て (5)地区PTAの活動の活性化 (6)望ましい学年・学級PTA活動のあり方 というテーマ別の分科会毎に、事例発表を中心に活発な討議がなされ、大変意義ある研究大会の幕を閉じました。



表彰を受ける松谷氏

尚表彰者は次のとおりです。
松谷英樹 現三股小副会長
久保忠雄 現三股小企画委員長
宮里勇美 前宮村小会長
福留久光 前勝岡小会長
山下正明 現桃山小山林部部長
轟木博 前長田小会長
園田正平 現三股中会長
団体 高知地区PTA 宮村小餅原地区PTA 勝岡小

お知らせ

町議会議員互助会では、新生活運動の一環として、昭和五十七年の年賀状を、町内の皆様には差し上げないとの申し合わせを行いました。そのため、自全員の出資に

より、紙面による共同年賀を発行し、広報みまたの新年号に折り込むことにいたしました。町民の皆様方の御理解をお願い申し上げます。町議会議員一同

勲五等瑞宝章を受賞

老人センターで祝賀会



叙勲を受けた荒武氏夫妻

前町代表監査委員の荒武時宗氏が、先の秋の叙勲で、勲五等瑞宝章を受賞されました。(行政監察功労)

荒武氏は、昭和五年早稲田大学を卒業、同七年内務省に入られ、大府府警察本部に勤務されました。その後戦争中の同十八年シカゴポール警察署長などを歴任、昭和二十六年より同四十二年まで、行政管理庁の監察官として精励された方でありました。

その後本町の行政相談委員として活躍され、また、昭和五十一年七月から今年七月まで、代表監査委員として、町の行政の確立と地方自治進展のため尽力された方



賑わった叙勲祝賀会

でありました。叙勲授与式は十一月十二日、東京で行われました。荒武氏は、「受賞式には妻(ヒサさん)と出席しました。授与式のおと宮中で天皇陛下より親しくおことばをお受けでき、感激しつも出来るかぎり社会のために精進したいと思っています。」と、受賞のよろこびを話しておられました。また協賛方式による叙勲祝賀会は、十二月八日午後二時から老人福祉センターで行われました。祝賀会には町内の有志約五十名が参加し、栄ある氏の受賞を讃えました。

歳時記

寒波(冬將軍)

冬將軍出陣の季節となりました。ところで、この「將軍」とは、どんな將軍がご存じでしょうか。これは、一八二二年ナポレオン一世が、モスクワに遠征した時、ロシアの寒さと雪にははまれて敗退を余儀なくされたという話からきたもので、運戦運勝を誇っていたナポレオンを拒んだのが冬將軍というわけです。その正体はシベリア寒気団と呼ばれる世界最大の高気圧です。



ところで、冬になるとテレビやラジオで、寒波、という言葉をよく耳にします。日本海北部や北海道方面に低気圧が発達する時、大陸から冷たいシベリア寒気団が波のようにやってくる現象を寒波といっています。寒波に襲われると、わずかに一日くらいで気温が摂氏五度から十度も急降下することがあり、明け方には日本中の温度計が氷点下に沈んでしまいます。では、いったい、どのくらいの寒さが、どのくらいの早さでやってきたら寒波なのかについては、日本では、はっきりした

親の役割 もう一度確認を!

少年の非行を防止するにはまず家庭がしっかりしていることです。お父さん、お母さん時には自らをチェックすることも忘れないうで下さい。(原因は身近なところにあります。)

- (1) 子供を放任しない
- (2) 親の権威を失わない
- (3) 子は親を写す鏡である
- (4) 親子の対話を忘れない
- (5) 子供に善悪のけじめをつけさせる事忘れぬ
- (6) 子供に過度の期待をかけない
- (7) 子供を甘やかさない
- (8) 小さい時からしつけを怠らない
- (9) 二つ叱ったら三つほめる心がけを忘れぬ
- (10) 子供に目標を持たせることを忘れない

ほんの一杯が命とり

年末年始の交通安全運動

動め滞りに熱カンでキョッと一杯……お酒のおいしい季節になりました。
 特に十二月は、忘年会など酒を飲む機会が多くなりませんが、同時に飲酒運転による交通事故も増え「ほんの一杯だけ」が命とりになりかねません。
 「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」をドライバーのひとりひとり自覚し、これを守るようにしましょう。町内でも多くの方が飲酒運転で検挙されています。警察が検挙して調書をとりますと、二日酔いではなく「三日酔い」という人もいるそうです。みなさんアルコールに対して再認識を……

12月20日～1月10日

●アルコールはマヒ剤
 飲酒運転の実態をみますと、酒に対するドライバーの認識不足がめだちます。
 なぜ飲酒運転をしたか、という問いに対して「あまり酔っていないと思ったから」とか「少ししか飲んでいないから」と答える人が多く、なかには「酔った勢いで」という無鉄砲なドライバーもいるそうです。

アルコールは一種のマヒ剤で運転に必要な「認知」「判断」「実行」の能力を大きく低下させます。酒が少し入ると、運転に次のよ

- (1) ルールやモラルに無とん着にならぬ。
- (2) 目の識別や発見が遅れる。
- (3) ブレーキやハンドル操作が遅れがちになる。
- (4) スピード感がなくなる。
- (5) 無謀運転を無謀運転と感じなくなる。

これらのことから酒酔い、酒気帯び運転がいかに危険であるかが分かると思います。
 道路交通法では「何びとも酒気帯びて自動車、原動機付自転車等を運転してはならない」と定められており、アルコールの量の問題を

問わず、すべての飲酒運転を禁止しています。
 このような酒気帯び運転は、三か月以下の徴せられたら三万円以下の罰金に課せられるとともに、違反点数は六点で運転免許は停止されます。
 また、飲酒の影響で正常な運転ができない状態であれば、血中のアルコール濃度に関係なく酒酔い運転となりません。
 二日酔いにも十分な注意が必要です。夜遅くまで多量に酒を飲んだあくる日は飲酒運転になる可能性がります。
 なお、飲酒運転で罰せられるのは、ドライバーだけではなく乗る人にも酒を提供したり、すすめたりすることも禁じられています。
 酒びたりになりやすい年末年始は、ハンドルを持つ人も持たない人にも「乗るなら飲むな」を徹底させたいものです。



台所が火元

その大半は天ぷら火災

台所で火災発生——という火元は、そのほとんどがコンロです。火災件数を出火原因別にみますと、最も多いのがたばこですが、コンロによるものは、たき火・火遊びに次いで、第四位を占めています。さて、そのコンロによる火災ですが、意外に多いのが、天ぷらを揚げている最中に火が入り、周囲の物に燃え移るといいます。
 冬場は、どうしても揚げ物やため物など、油を使った料理が多くなります。また、十二月は、とくに暮れ間近になると何かにつけてあわただしく、火を使っている途中に電話や来客の対応で台所を離れるといったことも、しばしば起こりがちです。
 冬の台所——とくに天ぷらなど揚げ物をしているときは、十分に注意を。

台所を離れるときは必ずガスの栓を閉める

「天ぷら火災」はそのほとんどが、揚げている最中に、火をつけたまま「ちよつと台所を離れた」スキに起きています。戻ったときには、なべの油が燃えていたり、その火が周りの物に移って、手がつけられない状態だった。体験者の多くはこう話しています。なぜ、揚げている最中に台所を離れたか——その「原因」をみてみますと……

▽電話がかかってきて……
 ▽訪ねてきた近所の人やセールスマンと話し込んでしまつて……



▽ほかの家事をしていて、例えば、子供が泣いたのでその世話をしている……

「天ぷら火災」は、このようなちよつとした心のスキから起こっています。
 揚げ物をしていて台所を離れるときは、その都度、必ずガスの火を消すこと、ほんのちよつとだからという、油断は禁物です。気を付けましょう

油なべに火が入ったときの消火法

- ① ガスの栓を閉めましょう（温度を下げる）。
- ② ふたがあるときは、なべを倒さないように気をつけて、炎に感わされず正確にふたをします。
- ③ ふたがない場合は、大きめの布をぬらして、手前から覆いかぶせます。
- ④ 野菜などを燃えているなべに入れるのもよいですが、あわてて投げ込んだり、水のついた物を入れると油が飛び散ってやけどをします。水にぬれていない大きな葉っぱを広げ、ふたをするようになべにかぶせます。
- ⑤ なんといつても消火器があればすぐ消せます。ただ注意したいのは、油に直接噴射しないことです。油が飛び散って思わぬやけどをすることがあります。一度なべの壁面に当ててから、泡を入れるのが正しい使い方です。
- ⑥ 水をかけるのはやめましょう。炎がよけい大きくなったり、燃えている油があふれ出て危険です。

年末防犯のポイント

例年、年の暮れは、空き巣・スリ・ひったくり・サギなどの犯罪が多くなります。
 次のことに十分気をつけて、被害にあわないようにしましょう。

- (1) ちよつとの留守でも、必ずカギをかけましょう。
- (2) お出かけの時、お休みの時は施錠を忘れないように。
- (3) 現金の保管場所に工夫を、預金通帳と印鑑は別々に保管。
- (4) 混雑する所ではスリにご用心。
- (5) 商店等で買物する時は、現金、貴重品は必ずお手元に。
- (6) 銀行帰りや夜道では、携帯品をしつかりと。
- (7) 自動車・オートバイ・自転車。駐車する時は必ずカギを。
- (8) 現金・貴重品を積んだまま、車から離れない。
- (9) もうけ話・うますぎる話にはくれぐれも要注意。
- (10) 被害にあつたり、見かけない者がうろついている時には、

「すぐ一〇番へ」
 暴力を開放しましょう。

- (1) たとえ小さな暴力でも、勇気をもって警察へ届出しましょう。
- (2) 他人のことだからと知らぬふりをしないで、暴力を見たり聞いたりしたらすぐ一〇番しましょう。



カギはわが家のガードマン





秋期品評会を開催

肥育牛部会

町肥育牛部会（会長本村春男）は秋期品評会を11月17日、畜産センターで行いました。品評会には和牛去勢の部に19頭、和牛メスの部に11頭、乳牛の部に11頭の計41頭が出場し、各部門ごとに審査が行われ成績は次のとおりでした。（優等のみ）
和牛去勢の部 上石治行（谷） 久保康弘（田上）
和牛メスの部 野崎安雄（大サ）
乳牛の部 大村清水（上米）



全国大会で最優秀賞

七地区青年棒踊り

第30回全国青年大会の郷土芸能の部に本県代表として出場した第7地区青年棒踊りは、各道府県の代表チームを破り、みごと最優秀賞を獲得しました。全国青年大会は11月6日より9日までの4日間、国立競技場を主会場に行われ、本町からは団体の部で7地区の棒踊りと剣道が出場しました。尚剣道の部は、団体で4位に入賞し、個人戦でも3位（池田真二）4位（外園敦馬）にそれぞれ入賞しました。（写真は役場玄関前での壮行会）



最優秀賞に大村福一氏

町枝肉共励会

本年度の町枝肉品評会は、11月24日高崎町のくみあい食肉で開催されました。今回は和牛去勢15頭が出陳され、肉付、脂肪交雑、色、しまりなど厳正な審査が行われました。その結果ほとんどが中以上の成績で良好な実績をあげましたが、上物の割合が20%以下であった事は残念でした。しかし最優秀に選ばれた大村福一氏の肉は、もう少し肉の光沢があれば特選というすばらしいものでした。



研修のあと親睦を深める

郡公民館大会

郡公民館大会は11月25日町体育館で、郡内の関係者約110名が参加して行われました。大会主題を「コミュニティーづくりのための公民館活動の推進」におき、前鹿兒島市立美術館長、川村純二氏の講演のあと、午後からはバレーボール大会で親睦を深めました。また講演に先立ち表彰が行われましたが本町関係は次のとおりでした。
優良団体 第3地区壮年若樹会
公民館功労者 河野政則
優良公民館 第4地区（持原尚文）

町

の

話

題

子牛値、横ばい～やや安値

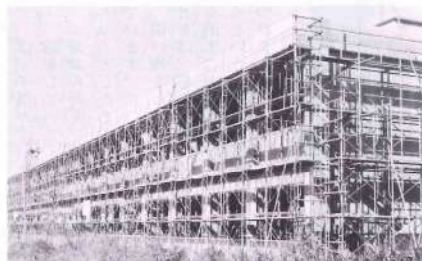
12月子牛せり市

12月1日より8日まで行われた今年最後の子牛せり市は、生産農家の熱い期待にもかかわらず、10月のせり市より平均15,000円下回る1頭 352,000円で取引されました。三股町からはメスが116頭出品し、1頭平均 384,000円で市郡平均より約 5,400円安値、去勢は 152頭が出品し1頭平均 320,600円で 1,400円の高値でした。



竣工が待たれる三股中

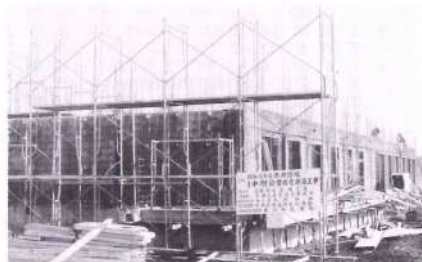
三股中学校の改築事業は、7月28日に着工以来、来春2月の落成を目指して着々と工事が進められています。今回の改築は、視聴覚教室をはじめ英語、美術、調理、木工、金工、被服の各特別教室とその準備室が主なもの、総事業費 213,000,000円（内補助金58,372,000円）をかけて建設されているものです。来年2月下旬には完成し、現在の3年生も使用出来るので、竣工が楽しみに待たれています。



工事も順調に進む

南原団地新築工事

本年度の公営住宅建設事業として、現在工事が進められている南原団地（藪池モリ紡東側）は、順調に工事も進み、来年三月には完成の予定です。建築主体工事=71,700,000円 電気工事= 5,150,000円 給排水工事=14,000,000円をそれぞれ投じて、1種住宅12戸が建設される計画です。建築工事の進行をみながら、来年早々から団地内の舗装工事と植栽工事も行われ3月10日には竣工の予定です。



好評の低学年母親学級

三股小P T A

三股小P T A協議会では、数年前から低学年の母親学級を開設していますが、なかなか好評で今年も約40名の学級生は毎月1回の学級を楽しみにしています。この学級は1・2年の児童の母親を対象に特に開設されたもので児童の心理、ほめ方しかり方、遊び等を認識し、よい父母になるための学習を年間を通じて身につけようというものです。また9月には施設見学も行い、今年は宮崎市の赤江療養所を見学しました。



お知らせ

●成人式について

昭和五十七年成人式の該当者について現在各公民館で調査を行っています。県外などから帰省されて、本町で成人式をしたい方も多数おられると思いますので、該当者は早目に地区公民館長さんまたは、教育委員会社会教育課に申し込んで下さい。

●成人式

昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日までの間に生まれた者

●成人式

期日 昭和五十七年一月五日
時間 午前九時受付 十時開式
場所 武道体育館

●年末年始のゴミ収集について

年の瀬を迎え、何かと忙がしい毎日をお過ごしのことと思います。年末年始のゴミ、危険物の収集については、次のとおり行いますので、御協力をお願いします。

(年末)

危険物 十二月二十八日まで

ゴミ 十二月二十九日まで

※危険物処理場(埋立地)への個人持込みは、十二月三十日まで

(年始)

危険物 一月四日(月)より
ゴミ 一月五日(火)より
●ゴミ・危険物は、必ず決まった日時に申し出ましょう。

●タコあげは電線のないところ

●タコあげは、電線のない広いところであげましょう。

●タコを取ろうとして電柱にのぼったり、電線にかかったタコを竹ざおなどで取るのは大変危険です。

また、そのために停電して近所の皆さんに大変迷惑をかけることがあります。

●万一、タコが電線にかかった時は絶対にさわらず、近くの九州電力営業所または電力所へご連絡下さい。

●酸欠事故をなくそう

閉めきった部屋で、寒いからと、ストーブやコンロをつけっ放しにしていると、燃焼に必要な空気の量が不足して不完全燃焼を起こします。頭痛やめまいを感じたら、酸素欠乏症か一酸化炭素中毒。場合によっては、命を失いかねません。火を使うときは、火の用心はもちろんのこと。換気の用心もお忘れなく。

また、物が燃えるときと同じように、わたしたち自身も空気中の

酸素を吸収し、二酸化炭素とともに、わずかの一酸化炭素を出しながら生きています。火を使わない部屋でも、換気には十分気を配ることが大切です。

一口メモ

お腹がゆるんだら濃い目のお茶を、

お茶は日本人に欠かせない飲物として古くから親しまれています。が、薬用としても多く活用されています。その一つに、「お腹をこわした時は濃い目のお茶を飲むと治る」と言われています。

これはお茶に含まれているタンニンという成分の働きによります。タンニンには収縮作用がありますから、これによってお腹がしめられ、お腹の調子を整えるのに効果があるのです。

濃いお茶とはちょうどお茶の葉を煎じて飲むのと同じことになるのです。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、昆明寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉進展のために有意義に活用させていただきます。

昭和五十六年十一月十七日より
昭和五十六年十二月七日まで

寄付者	故人名	地区	金額
内村 ミエ(夫)	重行	小サ	三万円
下石 好秋(母)	ハル	高畑	三万円
石坂 正行(母)	ツモ	櫛田	三万円
崎田 猛春(父)	雄	田上	二万円
時任 純一郎(父)	義彦	梶山	十万円
政野 ミエ(夫)	勝盛	谷	三万円
川添 純安(母)	チエ	上新	三万円
岩崎 綾子(夫)	賢	仲町	三万円

今月の納税

保険税

第4期

三股町の人口

昭和56年12月1日現在

人口17,982人	出生	22人
男 8,552人	死亡	12人
女 9,430人	転入	64人
	転出	75人
世帯数 5,471戸		
	前月比	+ 3人